

明星高等学校 2025年度 第2学年 国語探究 シラバス SMGS

週 4時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
養う チカラ	正しい読解力と思考力 的確な判断力・表現力														
学期目標	*	基礎基本の確実な定着				*	既習事項の運用・実践				*	応用的内容への展開			*
学習 単元	*	『日本人の発想、日本語の表現』 森田良行 『グローバル化と日本文化』 河合 隼雄 『小説』 小林秀雄 『逆説思考』 森下伸也 『伊勢物語』『大鏡』『紫式部日記』 『古今著聞集』『袋草紙』 『明道雑誌』『新説新語』				*	『生きるための経済学』 安富歩 『情報社会と人間』 桂木隆夫 『いま哲学とはなにか』 岩田靖夫 『言葉によって言葉に逆らう』 安倍公房 『玉勝間』『永代橋の墜落』『打出の浜の日記』 『枕草子』『宇治拾遺物語』 『漢書』『図画見聞志』『白居易集箋校』				*	『名前と人間』 田中克彦 『友だち地獄』 土井隆義 『風景の哲学』 納富信留 『貨幣論』 岩井克人 『蜻蛉日記』『建礼門院右京大夫集』『源氏物語』『狭衣物語』 『韓非子』『記先夫人不殘鳥雀』			*
教科書	なし														
副教材等	・入試につながる現代文(Learn-S) ・[三訂版]生きる漢字・語彙力(駿台文庫) ・[改訂版]現代文キーワード読解(Z会) 【昨年度購入済み】 現代文読解問題標準編(駿台文庫)、古典読解問題標準編(駿台文庫)														
観点	知識・技能		定期考査・課題提出など												
	思考力・判断力・表現力		定期考査・演習問題・課題提出など												
	主体的に学習に取り組む態度		小テスト・課題提出など												

明星高等学校 2025年度 第2学年 国語演習 シラバス SMGS・文系

週 2時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
養う チカラ	入試問題に対する対応力														
学期目標	*	基礎基本の確実な定着				*	既習事項の運用・実践				*	応用的内容への展開			*
学習 単元	*	オリジナル教材 成蹊大学・成城大学・明治学院大学・ 國學院大學・武蔵大学の入試問題より 厳選した良問を扱う				*	オリジナル教材 学習院大学・青山学院大学・中央大学・法政 大学の入試問題より厳選した良問を扱う				*	オリジナル教材 明治大学・立教大学・早稲 田大学の入試問題より厳選し た良問を扱う			*
教科書	なし														
副教材等	・入試につながる現代文(Learn-S) ・〔三訂版〕生きる漢字・語彙力(駿台文庫) ・〔改訂版〕現代文キーワード読解(Z会) 【昨年度購入済み】														
観点	知識・技能		定期考査・課題提出など												
	思考力・判断力・表現力		定期考査・演習問題・課題提出など												
	主体的に学習に取り組む態度		小テスト・課題提出など												

明星高等学校 2025年度 2学年 日本史探究 シラバス SMGS

週4時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	■ 収集した情報を社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて読み取る力 ■ 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色や、事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力 ■ 多様な史料を読解し歴史事象と結び付け、説明する力 ■ 資料等を適切に用いて、歴史に関わる事象について考察、構想したことを効果的に説明したり論述したりする力								
学期目標	*	原始・古代を通じて、暗記科目から脱却し、考察する歴史へと意識を変える		*	模試の過去問を通じて進研GTZ《A》ゾーンレベルへ到達する		*	《S》ゾーン到達率の増加	*
学習単元	*	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治	*	2 国風文化 3 地方政治の展開と武士 第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会	3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化	*	4 戦国大名の登場 第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定	*
教科書	山川出版社『詳説日本史』								
副教材等	資料集：浜島書店『新詳日本史』 問題集：啓隆社『日本史重要語句チェックリスト2025』 用語集：山川出版社『日本史用語集』								
観点	知識・技能		定期考査、小テスト 等						
	思考力・判断力・表現力		定期考査、小テスト 等						
	主体的に学習に取り組む態度		提出物、授業態度 等						

明星高等学校 2024年度 第2学年 世界史探究 シラバス SMGS

3 単位	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
養うチカラ	■ 様々な地域の歴史や文化を学習することで、我々が多文化共生社会を生きるための、他者や異文化を理解するための基礎と論述問題への対応力を養う。 ■ 歴史的事実の理解にとどまらず、出来事の因果関係を明らかにし、構造的に歴史を理解する力や思考力を探究活動を用いて養う。 ■ 授業で理解した内容を、課題として出す進研模試の過去問を用いてアウトプットすることを習慣化し、大学入試に必要な力として完成させることをめざす。														
学期目標	*	知識を知恵に変えて、探究を定着させる。			*	進研模試GTZ平均《A》ゾーン以上をめざす				*	進研模試GTZ《S》ゾーンのさらなる増加をめざす			*	
学習単元	*	世界史へのまなざし1 第Ⅰ部 第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成			*	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 第Ⅱ部 第6章 イスラーム世界の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 東アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国 第9章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容				*	第Ⅱ部 第10章 アジア諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域 第10章 アジアの諸 帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と環大西洋革命			*	
教科書	山川出版社『詳説世界史探究』														
副教材等	資料集：浜島書店『ニューステージ 世界史詳覧』 学習ノート：山川出版社『詳説世界史整理ノート』 問題集：山川出版社『詳説世界史 10分間テスト』														
観点	知識・技能		・定期考査、小テストで「知識・技能」をはかる												
	思考力・判断力・表現力		・定期考査、授業内での発表、演習問題への取り組みなどで「思考力・判断力・表現力」をはかる												
	主体的に学習に取り組む態度		・課題の提出状況と内容、グループワークなどから「主体的に学習に取り組む姿勢」をはかる												

明星高等学校 2025年度 (2)学年 (公共) シラバス (SMGS)

週(2)時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにする力を養う。								
学期目標	*	自己形成の課題を考察し、現代社会における自覚を深める。	他者との協働により国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。	*	憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を調整できるようにする。	公正かつ自由な経済活動を通して、資源の効率的な配分が図られることを学ぶ。	*	公害の防止と環境保全、消費者に関する問題などについても理解を深める。	*
学習単元	*	第1章 社会を作る私たち 1.生涯における青年期の意義 2.青年期と自己形成の課題 第4章 民主国家における基本原理 1.人権保障の発展と民主政治の成立 2.国民主権と民主政治の発展 第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 1.日本国憲法の成立	第1章 日本国憲法の基本的性格 1.日本国憲法の成立 2.平和主義とわが国の安全 3.基本的人権の保障 4.人権の広がり 第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第2章 日本の政治機構と政治参加 1.政治機構と国民生活	*	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第2章 日本の政治機構と政治参加 2.人権保障と裁判所 3.地方自治 4.選挙と政党 5.政治参加 第3章 現代の経済社会 1.経済社会の形成と変容	第3章 現代の経済社会 2.市場のしくみ 3.現代の企業 4.経済成長と景気変動 第3章 現代の経済社会 5.金融機関の働き 6.政府の役割と財政・租税 第4章 経済活動のあり方と国民福祉 1.日本経済の歩みと近年の課題	*	第4章 経済活動のあり方と国民福祉 2.中小企業と農業 3.公害防止と環境保全 4.消費者問題 5.労働問題と雇用 6.社会保障 第5章 国際政治の動向と課題 2.国家安全保障と国際連合 3.冷戦終結後の国際政治 第6章 国際経済の動向 1.国際経済のしくみ	*
教科書	詳述 公共 実教出版								
副教材等	詳述公共 演習ノート 実教出版								
観点	知識・技能		定期考査、小テスト等						
	思考力・判断力・表現力		定期考査、小テスト、提出物等						
	主体的に学習に取り組む態度		定期考査、提出物、授業への取り組み等						

明星高等学校 2025年度 2学年 化学 シラバス SMGS

週4時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	・高校1年生の「化学基礎」の学習を踏まえ、物質の変化について構造・結合・エネルギーなどを関連付けて理解できる。 ・身近な現象を材料にして化学的な考察ができる。また工業的にどのように応用されているかも考えることができる。								
学期目標	*	・化学変化に伴う熱や光エネルギー ・気体の体積と圧力や温度との関係 ・化学平衡と溶解、希薄溶液の性質 ・金属結晶、イオン結晶		*	・芳香族炭化水素の名称 ・脂肪族化合物の性質や反応 ・有機化合物の性質、元素分析の理解、組成式、構造式		*	・反応速度と濃度・圧力・温度・触媒の関係 ・化学平衡の法則の理解 ・糖類の性質や反応	*
学習単元	*	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解 第1節 化学反応と熱・光	第Ⅰ章 物質の状態 第2節 気体の法則 第4節 溶液の性質 第3節 固体の構造 (期末考査)	*	・夏休み明けテスト 第Ⅳ章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 (中間考査)	第Ⅳ章 有機化合物 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物 (期末考査)	*	第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第3節 化学反応の速さ 第4節 化学平衡 第5節 電離平衡 第Ⅴ章 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 糖類まで (学年末考査)	*
教科書	高等学校 化学（第一学習社）								
副教材等	セミナー化学基礎＋化学 2025（第一学習社）								
観点	知識・技能		小テスト、単元テストと定期考査の内、知識・技能を要する内容から総合的に判断						
	思考力・判断力・表現力		実験プリントの考察、単元テストと定期考査の内、思考力・判断力・表現力を要する内容から総合的に判断						
	主体的に学習に取り組む態度		提出物(授業プリント、実験プリント、課題提出など)の提出状況、授業態度から総合的に判断						

明星高等学校 2025年度 2学年 生物 シラバス SMGS

週4時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	・高2で学んだ生物学の知識や視点を応用し、自分で考察・分析する力や、思考する力を養う。 ・演習では、積み上げた理解を土台として応用的な思考問題への対応力を身につける。 ・実験や論述作業を通じ、本物を観察しながら生物を理解する。								
学期目標	*	・地球上の生物の誕生から種の進化、系統を理解する。 ・有性生殖や遺伝のしくみを学び、多様な生物種が誕生するしくみを理解する。 ・タンパク質分子や細胞内部の微細構造の働きについて理解する。		*	・代謝におけるエネルギー変換やATPの生産効率の観点から理解する。 ・細胞内の情報伝達に関わる物質や生命の設計図であるDNAとその利用の仕組みを理解する。 ・生殖細胞の形成過程、染色体の分配ルール、動物や植物の受精卵の発生過程と多様性を理解する。		*	・動物の行動の背景には、生理学的な情報伝達の仕組みが関わることを理解する。 ・植物が周囲の刺激に対してそのような反応を行い、その反応はどう引き起こされるのかを理解する。	*
学習単元	*	【第1部 生物の進化】 第1章 生物の進化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第3章 進化のしくみ (中間考査)	【第1部 生物の進化】 第4章 生物の系統 【第2部 生命現象と物質】 第5章 生命と物質 (期末考査)	*	【第2部 生命現象と物質】 第6章 代謝 【第3部 遺伝情報の発現と発生】 第7章 遺伝現象と物質 (中間考査)	【第3部 遺伝情報の発現と発生】 第8章 発生と遺伝子の発現 第9章 バイオテクノロジー (期末考査)	*	【第4部 生物の環境応答】 第10章 刺激の受容と反応 第11章 動物の行動 第12章 植物の行動 (学年末考査)	*
教科書	高等学校 生物(啓林館)								
副教材等	改訂版 リードα 生物基礎＋生物(数研出版)								
観点	知識・技能		小テスト、定期考査						
	思考力・判断力・表現力		小テスト、定期考査、ワークシート、実験レポート						
	主体的に学習に取り組む態度		提出物(課題、ワークシート、実験レポート)、授業態度						

明星高等学校 2025年度 2学年 物理 シラバス SMGS

週4時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	・理論式は公式導出できるようにし、公式や法則の考え方を理解し、適用できるようにする。 ・力学，熱，波動，電磁気を体系的にとらえ、物理の論理的思考力を培う。								
学期目標	*	・平面運動，剛体，運動量と力積の考え方を理解し、状況に応じて適切な公式を適用できるようになる	・円運動と単振動を体系的に理解し、状況に応じて適切な公式を適用できるようになる	*	・熱の分野をを体系的に理解し、状況に応じて公式を適用できるようになる ・波のイメージを適切にとらえ式として扱えるようになる	・音波，光波のイメージを適切にとらえ、式として扱えるようになる	*	・電場と電位の定義を理解し、抽象的な概念を具体的なイメージと式に落とし込む ・キルヒホッフの法則を理解し、適用できるようになる	*
学習単元	*	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第1節 平面運動と放物運動 第2節 剛体のつりあい 第3節 運動量の保存 (中間考査)	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第4節 円運動と単振動 (期末考査)	*	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第5節 気体の性質と分子の運動 第Ⅱ章 波動 第1節 波の性質 (中間考査)	第Ⅱ章 波動 第2節 音波 第3節 光波 (期末考査)	*	第Ⅲ章 電気と磁気 第1節 電場と電位 第2節 電流 (学年末考査)	*
教科書	高等学校 物理 (第一学習社)								
副教材等	2025 新課程版 セミナー物理 (第一学習社)								
観点	知識・技能		定期考査の知識・技能問題の出来，課題確認テストの出来，提出物から総合的に判断する						
	思考力・判断力・表現力		定期考査の思考力・判断力・表現力問題の出来，課題確認テストの出来，提出物から総合的に判断する						
	主体的に学習に取り組む態度		課題確認テストの出来，提出物，出欠席から総合的に判断する						

明星高等学校 2025年度 一貫5学年 数学Ⅱ シラバス SMGS

週4時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
養うチカラ	数学的リテラシーの養成と論述力の向上。一般入試に立ち向かえるための応用力を身につける。														
学期目標	*	1. 極限の考え方を認識し、極限の種類を見分けたり、極限值を求めたりできるようにする。 2. 数学Ⅱで学んだ微分法を発展させ、様々な関数の導関数を求めることができるようになる。				*	1. 微分の計算を用いて増減表をかき、複雑な関数のグラフをかくことができるようになる。 2. 数学Ⅱで学んだ積分法を発展させ、様々な関数の原始関数を求めたり、定積分の値を求めることができるようになる。 3. 積分法を用いて、図形の面積や体積を求めることができるようになる。				*	入試問題に触れ、来年度到達しなければならないレベルを体感し、習得に向けて進み始める。			*
学習単元	*	第1章 数列の極限 第2章 関数の極限 第3章 微分法				*	第4章 微分法の応用 第5章 積分法 第6章 積分法の応用				*	数学ⅠAⅡBCの復習			*
教科書	Focus Gold Ⅲ														
副教材等	Focus Gold Ⅲ														
観点	知識・技能		考查、小テストなど												
	思考力・判断力・表現力		考查、小テストなど												
	主体的に学習に取り組む態度		レポート、問題集の提出、授業等での行動観察												

週4時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
養うチカラ	数学的リテラシーの養成と論述力の向上。一般入試に立ち向かえるための応用力を身につける。														
学期目標	*	【数学Ⅱ】 1. 指数を正の整数から有理数へ拡張し、指数の意味や指数法則を理解する。対数の意味とその基本的な性質について理解し、対数の計算ができるようにする。 2. 微分の意味と微分係数の定義を理解する。導関数の計算法、増減表の作成法を身につける。方程式や不等式への応用は、数Ⅲを視野に入れながら学習する。不定積分および定積分の意味について理解し、積分の計算法を身につける。定積分を用いて図形の面積を求めることができるようにする。				*	1. 複素数平面 複素数平面の上で複素数の計算がどのように反映されるかを理解し、いろいろな問題に応用する。 2. いろいろな曲線 2次曲線の定義と諸性質を学ぶ。極座標の仕組みや媒介変数表示の仕組みを知る。曲線のもつ内在的な性質により、いろいろな形式で表される曲線があることを知る。				*	【理系】 1. 自然対数の底eを知る。数Ⅲの微分計算を確実に身につける。複雑な関数でもグラフが書けるようになる。 【文系】 数ⅠⅡABCから分野を選び、振り返り演習を行う。			*
学習単元	*	第4章 指数関数・対数関数 第5章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 2節 微分法の応用 3節 積分法				*	【数学C】 第3章 複素数平面 第4章 いろいろな曲線				*	<理系> 【数Ⅲ】 第2章 微分法 <文系> 数ⅠⅡABC演習			*
教科書	実教出版 数学Ⅱ Progress 数学Ⅲ Progres 数学C Progress														
副教材等	実教出版 数学Ⅱ Prominence 数学Ⅲ Prominence 数学C Prominence														
観点	知識・技能		考査、小テストなど												
	思考力・判断力・表現力		考査、小テストなど												
	主体的に学習に取り組む態度		レポート、問題集の提出、授業等での行動観察												

明星高等学校 2025年度 2学年（数学B）シラバス（SMGS）

週(3)時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力								
学期目標	*	(1)ベクトルの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		*	(1)平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		*	難関校受験を意識した入試基礎問題の習熟を図る。	*
学習単元	*	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 1. ベクトルとその意味 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 2節 ベクトルの応用 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. ベクトル方程式	3節 空間のベクトル 1. 空間における直線と平面 2. 空間の座標 3. 空間のベクトル 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. 空間の図形	*	3章 平面上の曲線 1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 軌跡と2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標 1. 媒介変数表示 2. 極座標 3. 極方程式 4. いろいろな曲線	2章 複素数平面 1節 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数の図形への応用	*	入試演習	*
教科書	数C703「数学C Progress」 実教出版								
副教材等	「Prominence数学C」 実教出版								
観点	知識・技能		数学Cにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。						
	思考力・判断力・表現力		大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。また、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できる。						
	主体的に学習に取り組む態度		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。						

明星高等学校 2025年度 第2学年 数学B シラバス SMGS

週3時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
養うチカラ	数学的リテラシーの養成と論述力の向上。一般入試に立ち向かえるための応用力を身につける。														
学期目標	*	1. 加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式、半角の公式を導けるようにする。三角関数の合成を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 2. これまでに学んだ関数と比較しながら、分数関数、無理関数についての理解を深める。 3. 数列の規則を見つけ、その一般項や和を求めることができる。漸化式を理解し、一般2. 項を求めることができる。数学的帰納法を利用して式を証明したりすることができる。				*	1. ベクトルを用いて、基本的な図形の性質や関係を表現したり、処理したりすることができる。平面図形、空間図形の考察において、座標やベクトルを用いて処理することができる。 2. 極限の考え方を認識し、極限の種類を見極めたり、極限値を求めたりすることができるようになる。				*	数Aで学習した期待値を見つめ直す。確率分布を測る諸量、特に標準偏差の意味を理解する。二項分布の正規分布による近似や検定の意味も学ぶ。			*
学習単元	*	【数学Ⅱ】 第3章 三角関数 【数学Ⅲ】 第1章 関数と極限 第1節 関数 【数学B】 第1章 数列				*	【数学C】 第1章 ベクトル 【数学Ⅲ】 第1章 関数と極限 第2節 数列の極限 第3節 関数の極限				*	【数学B】 第2章 統計的な推測			*
教科書	数学Ⅱ Progress 数学B Progress 数学C Progress 数学Ⅲ Progress(実教出版)														
副教材等	実教出版 数学B Prominence 数学C Prominence 数学C Prominence														
観点	知識・技能		考查、小テストなど												
	思考力・判断力・表現力		考查、小テストなど												
	主体的に学習に取り組む態度		レポート、問題集の提出、授業等での行動観察												

MGS

明星高等学校 2025年度 2学年 (数学B) シラバス (SMGS)

週(3)時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力								
学期目標	*	(1)ベクトルの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		*	(1)平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		*	難関校受験を意識した入試基礎問題の習熟を図る。	*
学習単元	*	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 1. ベクトルとその意味 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 2節 ベクトルの応用 1. 位置ベクトル 2. ベクトルの図形への応用 3. ベクトル方程式	3節 空間のベクトル 1. 空間における直線と平面 2. 空間の座標 3. 空間のベクトル 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. 空間の図形	*	3章 平面上の曲線 1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 軌跡と2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標 1. 媒介変数表示 2. 極座標 3. 極方程式 4. いろいろな曲線	2章 複素数平面 1節 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数の図形への応用	*	入試演習	*
教科書	数C703「数学C Progress」 実教出版								
副教材等	「Prominence数学C」 実教出版								
観点	知識・技能	数学Cにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。							
	思考力・判断力・表現力	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。また、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できる。							
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。							

明星高等学校 2025年度 2学年（数学Ⅱ）シラバス（SMGS文系）

週(4)時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	入試数学の基礎力を培う								
学期目標	*	入試パターンとなる問題の知識と技能を養う 思考力・判断力・表現力を培う		*	入試パターンとなる問題の知識と技能を養う 思考力・判断力・表現力を培う		*	入試パターンとなる問題の知識と技能を養う 思考力・判断力・表現力を培う	*
学習単元	*	§1 関数・方程式と不等式 §2 場合の数・確率	§3 三角比と三角関数 §4 指数関数・対数関数	*	§5 ベクトル §6 数列 §7 トピックス ・漸化式 ・格子点	§7 微分法・積分法 §8 トピックス ・相加相乗平均 ・最大最小	*	§9 整数の性質 §10 入試演習	*
教科書	なし								
副教材等	なし								
観点	知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。							
	思考力・判断力・表現力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。							
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							

明星高等学校 2025年度 (2)学年 (体育) シラバス (共通)

週(2)時間	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期	春休み
		中間	期末		中間	期末			
養うチカラ	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う								
学期目標	*	運動の合理的、計画的な実践を通じて運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能を身につける		*	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決にむけて思考し判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える		*	運動における競争や協働の経験を通じて公正に取り組む、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保する	*
学習単元	*	【男子】 ・球技(ゴール型)ハンドボール パス・シュート 【女子】 ・球技(ネット型)バレーボール パス・サービス 【体育理論】 ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツ戦術における技術と戦術 ・技能の上達過程と練習		*	【男子】 ・武道(柔道) 固め技・投げ技 【女子】 ・球技(ベースボール型)ソフトボール 捕球・送球・バッティング 【共通】 ・水泳 3泳法 【体育理論】 ・効果的な動きのメカニズム ・体カトレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保		*	【共通】 ・ダンス 現代的なリズムダンス 創作ダンス	*
教科書	「現代高等保健体育」大修館書店								
副教材等	「ステップアップ高校スポーツ2024」大修館書店								
観点	知識・技能		実技・筆記試験						
	思考力・判断力・表現力		実技・筆記試験・レポート						
	主体的に学習に取り組む態度		学習への取り組み態度・課題						

明星高等学校 2025年度 第2学年 家庭基礎 シラバス SMGS

週2時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
養う チカラ	①食衣住や消費生活における基礎的・基本的な知識・技術 ②子どもについて学び、社会問題や親の役割を理解する ③生活様式の多様化が進む現代社会において、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度															
学期目標	*	・現代の青年期、家族・家庭の課題について理解し、関心を持つ。 ・衣服の役割について理解し、衣生活の現状や課題について関心を持つ。 ・健康で快適な衣生活を営むために必要な被服材料、被服管理などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。 ・手縫いやミシンを使った被服製作ができる。				*	・食事の意義・役割を理解し、食生活の現状や課題について関心を持つ。 ・健康な食生活を営むために必要な栄養、食品などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。 ・調理の技術を学び実践的な力を身につける。 ・課題解決に向けて取り組むことができる。				*	・消費の現状や、家計と社会の関わりについて理解する。 ・消費者として主体的に判断し行動できる力を身に付ける。 ・お金の使い方について学ぶ。 ・環境に配慮した消費生活について自ら考え、公正な判断力を養う。				*
学習 単元	*	青年期・家族 8章 1. 人生100年時代を生きる 2. 青年期の課題 3. 現代の家族・家庭と法律 衣生活 2章 1. 人と衣服 2. 衣服の手入れ・管理 3. 衣服素材の性能と着心地 4. これからの衣生活(SDGs) ◎被服実習 ・手縫い、ミシンの基礎 ◎調理実習 ・調理の基礎				*	食生活 3章 1. 人と食生活 2. 食品と栄養素 3. 食品の選択・保存、安全な取り扱い 4. 献立作成 5. これからの食生活(SDGs) ◎調理実習 ・調理の基礎 ◎アートグレイシルバー(SDGs) ・環境を考えた消費				*	消費生活 1章 1. 18歳成人 2. 契約と消費者トラブル 3. 消費者の権利と責任 4. 生活費と家計 5. これからの消費生活(SDGs) ◎演習 ・ドリル				*
教科書	高等学校 家庭基礎 『Survive!』教育図書															
副教材等																
観点	知識・技能		定期考査・製作物													
	思考力・判断力・表現力		製作物・レポート													
	主体的に学習に取り組む態度		実習や授業へ意欲・関心・態度													

明星高等学校 2025年度 第2学年 論理表現Ⅱ シラバス SMGS(Rクラス)

週2時間	春休み	1学期				夏休み	2学期				冬休み	3学期			春休み	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
養う チカラ	・文法ベースの基本例文とコンテキストベースのまとまった英文や対話文の大量インプットを通して、英文法の運用力を身につける。 ・物事の説明や自分の考えを100語以上の正確で自然な英語で論理的に表現できる力を高める。 ・上記レベルで英語を運用できるようになるために必要とされる語彙力・文法力・構文力を習得する。 ・高校2年3月までには英検2級に合格し、準1級レベルに挑戦できる英語力を磨く。															
学期目標	*	①基本例文の徹底暗唱など基礎トレーニングを徹底し、与えられたテーマについて正しい英語で表現できる。 ②英文法や語法、イディオムを正確に運用して、表現できる。 ③身近な学校生活や家庭での生活に関わる話題から社会的な話題まで、英語を使って分かりやすく書いたり話したりできる。				英文法の既習事項の定着	①基本例文の徹底暗唱など基礎トレーニングを徹底し、与えられたテーマについて正しい英語で表現できる。 ②英文法や語法、イディオムを正確に運用して、表現できる。 ③社会的な話題について、英語を使って論理的に自分の考えを書いたり話したりできる。 ④英検2級レベルのライティング力を完成する。				*	①与えられた状況やテーマについて正しい英語で表現できる。 ②英文法や語法、イディオムを正確に運用して、表現できる。 ③社会を取り巻く諸問題について、英語を使って論理的に自分の考えを書いたり話したりできる。				*
学習 単元	*	★『Vision Quest』『Navigation Book』 Lesson1 主語の選択 Lesson2 動詞の語法 Lesson3 時制 Lesson4 助動詞 Lesson5 修飾の仕方:不定詞・分詞 Lesson6 修飾の仕方:関係詞 Lesson7 修飾の仕方:副詞句・副詞節 Lesson8 情報の伝達:レポート文 ★『Insight 英文法・語法・熟語問題集』 Part2 語法編 16章				英文法トレーニング	★検定教科書『Vision Quest』 Lesson9 条件と仮定 Lesson10 数量表現 Lesson11 比較 Lesson12 否定表現 ★補助教材『基礎から鍛える クラッシュコース英作文』Level1およびLevel2 Lesson1～3 基本時制 Lesson4～5 英語特有の表現 ★『Insight 英文法・語法・熟語問題集』 Part2 語法編 17～21章				*	★補助教材『基礎から鍛える クラッシュコース英作文』Level1およびLevel2 Lesson6～7 受動態 Lesson8 準動詞 Lesson9 動詞の語法 Lesson10 疑問文 Lesson11 比較 Lesson12 助動詞 →高3で継続使用 ★『Insight 英文法・語法・熟語問題集』 Part3 熟語編 22～23章				*
教科書	『Ace Vision Quest English Logic and Expression II』(啓林館)															
副教材等	『Vision Quest LOGIC&EXPRESSION II スマコレ×スピプラ ナビゲーションブック』(啓林館) 『基礎から鍛える クラッシュコース英作文』(三省堂) 『Insight 英文法・語法・熟語問題集』(啓林館)															
観点	知識・技能		定期考查の素点、基本例文暗唱テスト・復習テストの点数													
	思考力・判断力・表現力		定期考查の素点、スマートレクチャーコレクションの内容点													
	主体的に学習に取り組む態度		課題への取り組み状況、スマートレクチャーコレクションの提出状況													